

会 議 録

1 会議名

平成27年度 第7回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 大貫地区の用途地域の変更について（公開）
- (2) 諮問事項について（公開）
- (3) 地域協議会会長会議について（公開）
- (4) 平成27年度金谷区地域協議会委員視察研修について（公開）
- (5) 地域活動支援事業の審査採択ルール等について（公開）

3 開催日時

平成27年11月25日（水） 午後6時から午後7時20分まで

4 開催場所

平山ふれあい会館

5 傍聴人の数

11人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：田村恒夫（会長）、川住健作（副会長）、高宮宏一（副会長）
石川美恵子、石黒正勝、市村政則、上野 弘、小池茂彦、高橋敏光、
高橋日出男、竹内恵市、樋口泰斗、山口茂幸、山崎四十四、山下 洋、
吉越春男
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 橋本センター長、槇島係長、小林主事
都市整備課 佐藤副課長、竹田係長、大滝主任

8 発言の内容（要旨）

【小林主事】

- ・ 16名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は田村会長が務めることを報告

【田村会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：山下委員、吉越委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【橋本センター長】

資料により説明。

【田村会長】

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

続いて、次第3報告(1)「大貫地区の用途地域の変更について」都市整備課に説明を求める。

【都市整備課 佐藤副課長】

高田開府400年ということで、400年前に今でいう都市計画として高田城を中心としたまちづくりがなされ現在に至る。現代でもその考え方は同じで、今日説明する大貫の用途地域の変更についても、都市計画のルールに基づき変更したいと考えている。

本日は地域協議会での意見として伺うが、法律に基づいた意見を伺う機会を設けているので、質問があれば後段の質問の中でお願いしたい。

【都市整備課 大滝主任】

資料No.1により説明。

【田村会長】

質疑を求める。

【川住副会長】

変更する区域の南端は金谷山入り口までとなっている。この先は耕作放棄地などが結構あり、将来的には区域がこの先に伸びる可能性はあるか。

【都市整備課 佐藤副課長】

図の白い部分の話かと思う。市は今後、人口減少などに伴う税収減により行政サービスに支障が生ずるおそれがあり、集約をしながら住みやすいまちづくりを進め

ることとしているため、御質問の市街化調整区域の市街化区域への変更は厳しいと考える。ただ、山麓線は新幹線開業、全線開通により交通量がかなり増え、道路の利用者のための施設は、一定程度必要で、今の段階では、市街化区域とするのではなく、部分的ではあるが一定程度建物が建てられるようにはしていきたい。

【川住副会長】

観光面からも、上越妙高駅からの山麓線利用者が多くなると思うが、この区域が耕作放棄地となると見栄えが非常に悪い。上中田地区は大型ショッピングセンターなどの進出により非常にきれいになったが、今後、大貫地区が商業施設などで整備された場合に、その間のこの区域は、建物がなくてもきれいな状態になるよう管理をお願いしたい。

【都市整備課 佐藤副課長】

まずは地権者の管理によることとなるが、農業は耕作者の高齢化や後継者問題で非常に厳しい状況でもある。来訪者ががっかりして帰ることのないよう、市でもできることはしたいと思っている。

【田村会長】

他に質疑を求める。

【山崎委員】

用途地域変更の区域は、山麓線を中心に東西概ね50メートルとの説明だが、その根拠は何か。

【都市整備課 竹田係長】

変更区域の北側に隣接する大型スーパーのある第一種住居地域から続く形になる。50メートルは、山麓線の交通量増加による騒音、環境の一つの基準があり、法令でも基本的には地形・地物で区切るとなっておりこうなった。

【田村会長】

他に質疑を求める。

【石川委員】

規制が緩和され様々な商業施設ができた場合、競争による既存店への影響や盛衰について市はどう考えているか。

【都市整備課 佐藤副課長】

いわれるような部分はあると思う。この土地利用の変更は、山麓線を通過する方々のためと、周辺住民や今後の高齢化などにより想定される買い物難民のため、利便施設の立地の誘導を目指しているところである。出店施設によるが3,000平米以下の規模なので、イメージとしてはドラッグストア程度の規模であり、大規模店は許容していない。

【田村会長】

他に質疑を求める。

【市村委員】

土地利用の変更については問題ないと思っているが、商店の出入口設置による歩道のでこぼこについて、安全・安心面の対策として規制するのかどうか聞きたい。

【都市整備課 佐藤副課長】

地域住民の今後の安全確保についてだと思うが、土地利用には当課への届出と審査が必要で、歩道の通行者の安全、施設の背後の居住者への配慮、住民のプライバシー保護などを審査するので安心いただきたい。

【田村会長】

他に質疑を求める。

【小池委員】

上越市都市計画マスタープランに、上越市が目指す将来都市像やまちづくりの方針を踏まえて作ったとあるが、上越市の将来像やまちづくりの方針を簡単に説明願いたい。

【都市整備課 佐藤副課長】

人口減少、世帯構成の変化など、これまでにない状況になっても、住み続けられる便利な街をつかっていきたいとの思いを踏まえ、「すこやかなまち、人と地域が輝く上越」を掲げ、上越市の総合計画、都市計画マスタープランを作った。

【小池委員】

買い物難民の解消という話があったが、山麓線から50メートルの範囲でできる中規模店程度ではお客は来ないのではないか。果たして50メートルだけでよいの

か聞きたい。

【都市整備課 佐藤副課長】

お店の規模が大きければ車を利用しやすく、賑わいは出ると思うが、既に静かな環境を求め住まわれている住宅地で、今の環境ががらりと変わるようなまちづくりはしてはいけないと考える。日用品などが買える程度の店舗を想定し、最良の答えとして50メートルの範囲の中で3,000平米程度の土地利用だと整理をした。

【小池委員】

50メートルで3,000平米を確保するには、相当長くしなければならない。山麓線の路線価は高いのではないか。奥は多分安い。

【都市整備課 竹田係長】

3,000平米以下という規定である。

【小池委員】

だから3,000平米を確保するには、相当横に長くしないとできない。

【都市整備課 竹田係長】

沿道はすでに土地利用されている所も多く、大きくなると考える。

【小池委員】

50メートル範囲でも様々な施設がくれば、静かな住宅地を買ったのにということになり、中途半端なものをつくれれば、静かでもお客が来ない。つくる以上は、交通量は増えても、きちっとしたものをつくれるようにするべきではないか。ここまで来たらどうこういえないが、50メートルが果たして適当なのか検討してもらいたかった。

【都市整備課 佐藤副課長】

土地利用を積極的に図りたい部分もあったが、周辺住民の環境を考えた場合、あまり大きなものはいかがかということである。

旅先でスーパーを利用することはあまりない。生鮮品や日用品を求めるお客は地域住民である。サンダル履きで歩いて来られる方がたくさんいる場所は事業者から見れば価値は高い。最低限ぎりぎりのバランスかと思われる。ご意見は承知している。

【小池委員】

自分が経営者なら多分出店はしない。経営は儲からなければいけない。集客があることが必要である。その点では規模が小さい感じを受けるので、考えていただけないかということである。

【都市整備課 佐藤副課長】

出店場所はどんな客をターゲットにするかで決まってくると思う。小池委員が経営者として想定する大きな店の出店場所は、市内たくさんある。ここはそういう区域でないというのが行政の整理である。ただ地域として、50メートルでは土地利用が進まないということであれば、資料No.1の別紙6にある意見書を出すことができるので、この制度を利用してもらいたい。

【田村会長】

他に質疑を求める。

【高宮副会長】

先般の協議会の研修で、金谷地区は上越市で四番目に人口が増加している地区ということであった。人口減少を睨んで50メートルの範囲とするのは当てはまらないのではないか。山麓線の開通による人口動態を考慮すべきではないか。

【都市整備課 佐藤副課長】

人の動きは時代によって変わる。例として昭和町のように当初たくさんの人が入ったが、現在は高齢者化が進み、道幅も狭いという状況もある。一世代でまちは変わっていく。人口の移動は重要な要素であり考慮するが、一方で20年後、30年後、この場所はどうあるべきかの整理で、両方を見ながら長期的な面も含めて整理をしていきたいと思っている。

【田村会長】

続いて、次第3報告(2)「諮問事項について」事務局に説明を求める。

【橋本センター長】

資料No.2により説明。

【田村会長】

質疑を求めるがなし。

続いて、次第3報告(3)「地域協議会会長会議について」、当日配布資料により

会議内容を説明。

事務局に補足説明を求める。

【橋本センター長】

全体会議で、自治・地域振興課から来年度の地域支援事業の概要について説明があった。

- ・今のところ今年度との変更はなし
- ・総事業費：1億8,000万円
- ・配分額：今年度と同様、均等割7、人口割3、今年度金谷区は840万円
- ・各地域協議会から提出された課題等については、今年度どおり変更なし。考え方は資料参照のこと。

【田村会長】

質疑を求めるがなし。

続いて、次第3報告(4)「平成27年度金谷区地域協議会委員視察研修について」事務局に説明を求める。

【小林主事】

当日配布資料No.2により説明

【田村会長】

質疑を求めるがなし。

次に次第4議題(1)「地域活動支援事業の審査採択ルール等について」事務局に説明を求める。

【小林主事】

資料No.3により説明

【田村会長】

今年度の審査・採択のルールについて、基本的には昨年度の見直しの結果、今年度のルールの完成度は高いと考えている。

意見等を求めるがなかったもので、変更なしということで、来年度のルールの見直しの参考とする。

続いて、事務局に事務連絡を求める。

【橋本センター長】

- ・次回、第8回協議会：12月22日（火）午後1時30分～ 福祉交流プラザ
定例日12月23日（水）祝日のため前日開催
- ・第9回協議会：1月27日（水）午後1時30分～ 福祉交流プラザ
- ・地域活動フォーラム：12月13日（日）午後1時30分～4時30分
リージョンプラザ上越コンサートホール
- ・地域協議会だより：1月15日号発行を予定

【田村会長】

質疑を求めるがなし。

会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課
南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。